



学校法人 日本赤十字学園

日本赤十字東北看護大学・日本赤十字東北看護大学介護福祉短期大学部

Japanese Red Cross Tohoku College of Nursing

Japanese Red Cross Tohoku Junior College of Care and Welfare

公開講座

2026 第2回～第6回

参加無料
事前申込学びを
日常に、安心を
未来に

第2回

新しい 防災のススメ

～無理なく始められる防災～



9/5 (土)

10:30～11:15

及川真一 氏

今日からできる、身近で無理のない防災のポイントをわかりやすくお伝えします。

※ AKITA防災キャンプフェスの一環です！

★ 本学 学生食堂

対面開催

第3回

復興期の 被災地との 関わり方



9/6 (日)

10:30～11:15

千葉菜津樹 氏

被災地の本当の復興には長い時間が必要です。私たちにできる支援や関わり方を一緒に考えます。

※ AKITA防災キャンプフェスの一環です！

★ 本学 学生食堂

対面開催

第4回

公開基礎ゼミナール 「名作文学に 病気を読む」



10/2 (金)

18:00～19:00

黒川博一 氏

本学学生が受講する基礎ゼミナールの中の「名作文学に病気を読む」、その公開講座版にお招きいたします。珠玉の「病気の文学」にあなたは何を感じるでしょうか。

★ 本学

252・253講義室

ハイブリッド開催

第5回

介護は奉仕の精神 さえあれば誰にでも できる仕事か？

—介護福祉専門職が担う
自立生活支援の価値—



10/30 (金)

18:00～19:00

井上善行 氏

介護福祉職は、利用者が自分らしく豊かな生活を続けられるよう支える専門職です。どのような支援がQOL向上になるのかの観点から、その専門性を考えてみます。

★ 本学

252・253講義室

ハイブリッド開催

第6回

さあ！ 身体を 動かそう



11/21 (土)

13:00～14:30

重川敬三 氏

健康づくりのための運動にわざわざ特別なことをする必要はありません。より良い身体づくりを学び、自分の身体と向き合う機会としてご参加ください。屋内でできる運動も実践を交えて紹介します。

★ 本学 152講義室

ハイブリッド開催

お申し込み

参加を希望される方は、右のQRコードの申し込みフォームからご入力いただくか、または電話、FAX、メールにてお申し込みください。申し込み用紙はチラシ裏面にあります。



開催日の1週間前までに
お申し込みください

※ 定員になり次第締め切ります。

お問い合わせ

日本赤十字東北看護大学 公開講座担当

E-Mail: kokaikoza@std.rctohoku.ac.jp

TEL: 018-829-3023

〒010-1493 秋田市上北手猿田字苗代沢17-3

主催

日本赤十字東北看護大学・日本赤十字東北看護大学介護福祉短期大学部 地域貢献委員会

日本赤十字東北看護大学・介護福祉短期大学部

公開講座

	日時	講師	テーマ	概要
第2回	9月5日(土) 10:30~11:15 対面開催のみ	及川 真一 氏 日本赤十字東北看護大学 介護福祉短期大学部 講師	新しい防災の ススめ ～ 無理なく 始められる 防災 ～	人は、安全な状況にいるときは気づかないが、危険な状況になって初めて、安全の大切さを知ります。病になって初めて健康の大切さがわかるのと同様に。しかし、大切な人を危険な状況に置いてから、あるいは命を失ってから、その大切さを知るというのは遅すぎます。 大災害を完全に防ぐことができませんが、防災力を高めることで、一人でも多くの尊い命を守ることが重要です。今日から無理なく始められる防災について解説いたします。
第3回	9月6日(日) 10:30~11:15 対面開催のみ	千葉 菜津樹 氏 秋田災害支援 プロジェクト alecole 代表	復興期の 被災地との 関わり方	被災後は多くの方が被災地に集まり、精力的に活動が行われることで家屋や街は元の姿を取り戻していきます。しかし時間が経つと報道の減少や他の災害の発生により、関心が薄れていってしまうのが現実です。それでも当然ながらその地で被災した方々は傷ついた心を抱えたままでの生活が続いていきます。傷ついた心を癒やすための特効薬はありません。その地で被害があったことを忘れずに、地域や人々の心を癒し再生していくための取り組みが必要です。一見元に戻ったように見えても、本当の意味での再生には多くの時間と多くの人の関わりが必要です。被災直後の緊急期には関わりが難しかった方も、復興期には関わる機会が出てくることもあります。ぜひ多くの方に被災地への関わり方を知っていただき、長い関わりを続けてほしいと思います。
第4回	10月2日(金) 18:00~19:00 ハイブリッド 開催	黒川 博一 氏 日本赤十字東北看護大学 看護学部 教授	公開基礎 ゼミナール 「名作文学に 病気を読む」	看護学部1年生が受講する基礎ゼミナールの中で、何らかの病気や病態などが描写された本を1冊選んで文学的かつ医学的観点から分析する、「名作文学に病気を読む」の公開講座版にお招きいたします。明治の文豪から令和の新鋭まで、長短や硬軟、洋の東西が入り混じる珠玉の「病気の文学」に、あなたは何を感じるでしょうか。
第5回	10月30日(金) 18:00~19:00 ハイブリッド 開催	井上 善行 氏 日本赤十字東北看護大学 介護福祉短期大学部 教授	介護は奉仕の 精神さえあれば誰にでも できる仕事か？ — 介護福祉専門 職が担う 自立生活支援 の価値 —	介護は「3Kの仕事」と言われることもあり、介護職のなり手不足が続いています。 その背景には、本来であれば家族が担う介護を補完・代替し、家族の負担を軽減する役割として捉えられていることがあります。 つまり、たいへんなことを肩代わりしてくれる「ありがたい存在」というイメージで理解されている面があります。 しかし、介護の仕事の価値は、こうした家族介護の補完・代替だけにとどまりません。 介護福祉職は、介護を必要とする人が幸せな人生を過ごせることなく、自分らしく豊かな暮らしを続けられるように支える「日常生活支援の専門職」です。その支援は、利用者のQOLの向上に直結します。 そのため、利用者の日常生活をどのように捉え、どのような支援を行えばQOLの向上につながるのかという視点から、介護福祉の専門性を改めて考えてみます。
第6回	11月21日(土) 13:00~14:30 ハイブリッド 開催	重川 敬三 氏 日本赤十字東北看護大学 看護学部 講師 (運動指導教員)	さあ！身体を 動かそう	運動は特別なことではありません。体力の維持のため、まずは生活の中でできることから始めてみませんか。より良い身体づくりの方法を学び、自分の身体をみつめる機会としてぜひご参加ください。屋内でもできる運動についてもご紹介いたします(実践あり)。

申込用紙

申込締切：開催日の1週間前

参加する日に ☒ をつけてください。 ※ 第4回・第5回・第6回は「対面」か「オンライン」のいずれかを選択してください。		☐ 第2回(対面) ☐ 第4回(対面) ☐ 第5回(対面) ☐ 第6回(対面)	☐ 第3回(対面) ☐ 第4回(オンライン) ☐ 第5回(オンライン) ☐ 第6回(オンライン)
フリガナ		電話番号	
氏名		E-mail	
住所	〒		

※ 参加される方の年代に○をつけてください。10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代以上

ご提供いただいた個人情報につきましては、本講座に関するご連絡及び本学の社会貢献関連事業のご連絡以外には使用いたしません。なお、受付確認後のご連絡は基本的にE-mailとさせていただきます。